



独創性 × 着眼力 × 最先端技術

医療の改善が望まれる疾患に新たな治療薬を提供



2022年3月期決算説明会

東証グロース 4571

ナノキャリア株式会社

2022年5月17日(火)

事業内容





ナノキャリアは

独創性 × 着眼力 × 最先端技術

医療の改善が望まれる疾患に新たな治療薬を提供

新たな価値を創造するとともに人々の健康と幸福に貢献します



【沿革】

- | | |
|-------|-----------------------------|
| 1996年 | ナノキャリア株式会社設立 |
| 2000年 | 本社・研究所設置(千葉県柏市)：本格稼働 |
| 2008年 | 東証マザーズ上場 |
| 2020年 | アキュルナ株式会社（核酸医薬）吸収合併 |
| 2021年 | 本社移転（東京都中央区）、研究所統合（神奈川県川崎市） |

第3相を含む臨床試験を国内外で実施中

会社概要



設立	1996年6月14日	
上場市場	東京証券取引所 グロース市場 (2008年3月5日 東証マザーズ上場)	
所在地	本社 東京都中央区京橋 研究所 神奈川県川崎市川崎区殿町	
子会社	NanoCarrier US Danville, VA	
	株式会社 PrimRNA	
資本金	347 百万円 (2022年3月31日現在)	
発行済株式総数	70,011,258 株 (2022年3月31日現在)	
役職員	35名 (2022年3月31日現在)	
取締役	代表取締役社長CEO	松 山 哲 人
	研究開発本部長CSO	秋 永 士 朗
	コーポレート本部長	藤 本 浩 治
	社外	岡 野 光 夫 (東京女子医大 名誉教授・特任教授)
	社外	片 岡 一 則 (東京大学 名誉教授 / iCONM センター長)
	社外	松 村 淳 (株式会社ウィズ・パートナーズ 代表取締役社長)
	社外	飯 野 智 (株式会社ウィズ・パートナーズ 取締役COO兼Co-CIO)
	社外	長谷川 由 紀 (株式会社ウィズ・パートナーズ ヘルスケア・インベストメント・ヘッド)
	監査等委員	宮 嶋 勝 春
	監査等委員 社外	中 山 美恵子 (悠綜合法律事務所 パートナー弁護士)
	監査等委員 社外	川 井 隆 史 (ハンズオン・CFO・パートナーズ株式会社 代表取締役社長)

2022年3月期 主なプレスリリース



2022. 4.27	VB-111 FDAよりファスト・トラック指定
2022. 4.22	ENT103 製造販売承認申請を実施
2022. 4.22	NC-6004 Phase IIb 頭頸部がんの治験継続しないことを合意
2022. 3. 9	VB-111 国際共同第Ⅲ相臨床試験の症例登録が完了
2021.12.27	Phase III 卵巣がん VB-111 国内目標症例数登録達成
2021.12.17	Phase IIb 頭頸部がん NC-6004 目標症例数登録達成
2021.12. 2	VB-111 海外Phase II 悪性腫瘍や大腸がんも進捗
2021. 9.21	VB-111 Phase III 患者登録継続推奨(独立データ安全性モニタリング委員会)
2021. 9. 8	mRNA医薬の応用拡大に向けたキッズウェル・バイオ株式会社との共同研究契約締結
2021. 9. 1	Phase III ENT103 主要評価項目を達成
2021. 6.21	NC-6300 FDAよりファスト・トラック指定
2021. 5.19	NC-6300 ASCOで血管肉腫を対象とした臨床成績概要を発表
2021. 4.23	AMEDと契約締結 mRNA医薬の開発を手掛ける「PrimRNA」を設立
2021. 4.20	NC-6100 siRNA医薬 論文発表

自社開発中のパイプライン



品目	対象疾患	非臨床	ph1	ph2	ph3	申請	開発地域	パートナー
VB-111	卵巣がん						日米欧 イスラエル	共同開発(導入) VBL therapeutics
※パクリタキセルとの併用治療 (遺伝子治療製品)								
ENT103	中耳炎/外耳炎					✓New	日本	共同開発 CEOLIA
※新規耳科用抗菌薬								
NC-6300 エピルビシンミセル	軟部肉腫						米国	
※血管肉腫に対象を絞り、第 I 相 part expansion cohort (例数追加試験) を実施中								
NC-6100 PRDM14 (siRNA)	乳がん						日本	医師主導治験 がん研有明病院
TUG1 (ASO)	膠芽腫						日本	共同研究 名古屋大学
※AMED採択 2020 年4 月～								
RUNX1 (mRNA)	変形性膝関節症						日本	PrimRNA AXCELEAD
※AMED採択 2021年4月～								
NC-6004 シスプラチンミセル	頭頸部がん						欧州 台湾	共同開発 (導出) 友華股份有限公司 Orient Europharma Co., Ltd.
✓New ※2022.4 主要評価項目未達：治験継続しないことをOEP社と合意								

✓*New*

成長戦略



承認取得後を見据えた体制の構築

1

- 承認申請 ・ ENT103 （耳鼻科領域 ： QOL向上で社会に貢献）
第3相 ・ VB-111 （遺伝子治療製品：治療法がない疾患に新たな選択肢を提供）

mRNA/ASO医薬の臨床ステージアップ

2

- 第1相（医師主導） ・ PRDM14 siRNA (NC-6100)：切除不能又は再発乳がん
非臨床 ・ TUG1 ASO ： 膠芽腫
・ RUNX1 mRNA ： 変形性膝関節症（軟骨再生）

M&A等で新たな後期開発品の獲得、提携/導出を推進

3

- ・ アンメットニーズを満たすグローバルな製品、後期パイプラインの導入
- ・ 核酸医薬等の創薬事業の拡大およびライセンスイン/アウトを推進
- ・ オープンイノベーションによる多様な革新的技術およびパイプラインの取り込み

収益化を重視した活動を積極的に推進

- 開発品の承認申請を加速、販売体制構築による早期収益化
- M&Aや提携を推進し、創薬事業を拡大し、新たな収益の柱に育成

これまでの実施例

アキュルナ社を吸収合併

<核酸医薬>

これまでに狙えなかった標的を
ターゲットにした
新しい治療法を提供

VBL社からライセンスイン

<VB-111>

後期ステージにありながらも、
市場規模的に大手企業が手を
付けにくい最先端技術製品



✓*New* 決算概要



2022年3月期 損益計算書



(単位：百万円)	2021年3月期 実績 (累計)	2022年3月期 期初予想(A) (累計)	2022年3月期 実績(B) (累計)	増減 (B)-(A)
売上高	313	228	264	35
売上原価、販管費及び一般管理費	1,616	2,033	2,325	291
内：研究開発費	1,173	1,530	1,923	393
営業（損失）利益	(1,302)	(1,804)	(2,061)	(256)
営業外収益/（費用）ネット	24	53	135	82
経常（損失）利益	(1,278)	(1,751)	(1,925)	(173)
当期（純損失）純利益	(2,835)	(1,734)	(1,881)	(147)

期初予想からの売上増加要因
 化粧品原料供給費の増加

研究開発費の増加要因

NC-6004の治験において、投薬期間の延長症例が多発したことによる併用薬購入費が増加

2022年3月期 貸借対照表



(単位：百万円)		2021年3月31日 (A)	2022年3月31日 (B)	増（減） (B)-(A)
現預金、運用債券等（手許流動性）		6,402	5,945	(457)
その他流動資産		499	359	(140)
固定資産		918	832	(86)
資産合計		7,820	7,136	(684)
転換社債型新株予約権付社債		—	1,150	1,150
その他負債		320	419	98
純資産		7,499	5,566	(1,933)
	資本金及び資本剰余金	10,260	10,297	37
	利益剰余金	(2,835)	(4,717)	(1,881)
	その他有価証券評価差額金	(8)	(43)	(35)
	新株予約権	83	30	(53)
負債・純資産合計		7,820	7,136	(684)

成長戦略3つのポイントを推進するための資金として

- 資本・事業提携・新規事業費用
- パイプラインの臨床開発費用および新規モダリティの研究開発費用

➤ 第5回無担保転換社債型新株予約権付社債

予約権総数 : 40個
発行株式数 : 普通株式 3,733,766株
転換価額 : 308円
資金調達額 : 1,150,000,000円
支出予定期間 : ~2023 年 12 月
資金使途 : M&Aや提携の推進

割り当て先 :
THEケンコウFUTURE投資事業有限責任組合
(株式会社ウィズ・パートナーズ)

➤ 第19回新株予約権

予約権数 : 97,402個
潜在株式数 : 普通株式 9,740,200株
行使価額 : 308円
現在までの調達額 : 0円 (全て行使された場合の調達額 : 2,992,903,660円)
支出予定期間 : ~2023 年 12 月
資金使途 : 核酸医薬の推進 (2,000百万円)
M&Aや提携の推進 (992百万円)

割り当て先 :
THEケンコウFUTURE投資事業有限責任組合
(株式会社ウィズ・パートナーズ)

実施された調達資金充当に関する説明



資金調達	調達額	使途	充当額	使用期間
第17回新株予約権	1,915百万円	基礎研究・開発パイプラインの研究開発費用	1,183百万円	2020年1月～2022年12月

※2022年3月末時点における充当額

2022年4月～2022年12月に予定する主な資金使途

- ◆ NC-6004/NC-6300の治験終了に向けた費用
- ◆ VB-111の国内第Ⅲ相治験の推進費用
- ◆ ENT103の申請費用
- ◆ 核酸医薬に関する研究開発費

(単位：百万円)	2022年3月期実績	2023年3月期予想	増減
売上高	264	184	(79)
売上原価、販管費及び一般管理費	2,325	1,724	(600)
内：研究開発費	1,923	1,286	(637)
営業（損失）利益	(2,061)	(1,540)	521
経常（損失）利益	(1,925)	(1,463)	461
当期（純損失）純利益	(1,881)	(1,471)	410

売上（予想）の主な要因

- ✓ 計画されている共同開発契約上のマイルストーンが減少

主な売上構成比	2022年3月期実績	2023年3月期予想
共同研究契約	46%	45%
商品/原料等の販売	54%	55%

研究開発費（予想）の主な要因

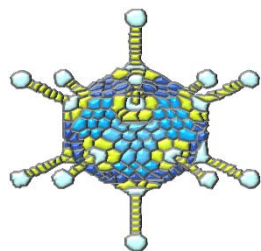
- ✓ NC-6004の治験終了までの費用は2-5億円を見込むが、費用圧縮に努める方針
- ✓ ENT103は開発完了、申請費用として計上

主な研究開発費構成比	2022年3月期実績	2023年3月期予想
VB-111	16%	20%
ENT103	7%	10%
NC-6004	52%	15%～40%

パイプラインの進捗状況



VB-111 : 2つの抗腫瘍作用をもつユニークな遺伝子治療製品



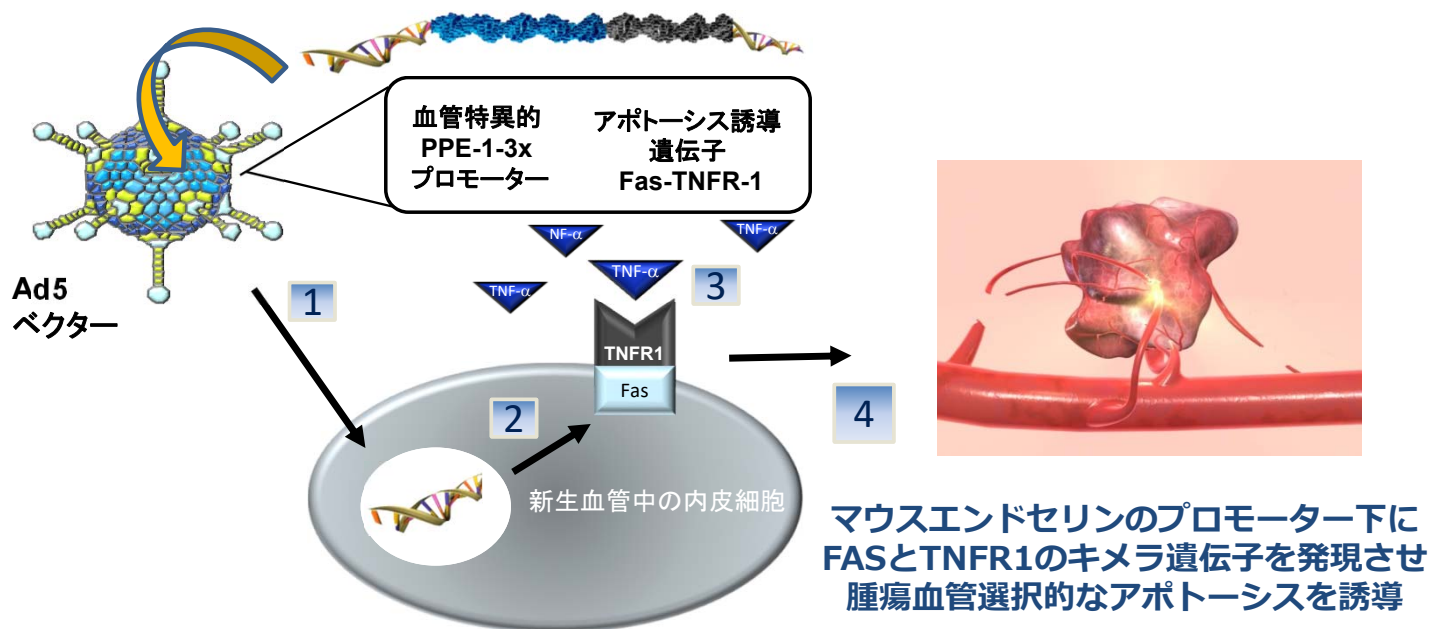
- 非増殖型アデノウイルスベクター
- 全身投与型の注射剤
- 腫瘍血管内皮細胞選択的にアポトーシスを誘導
- 腫瘍免疫惹起



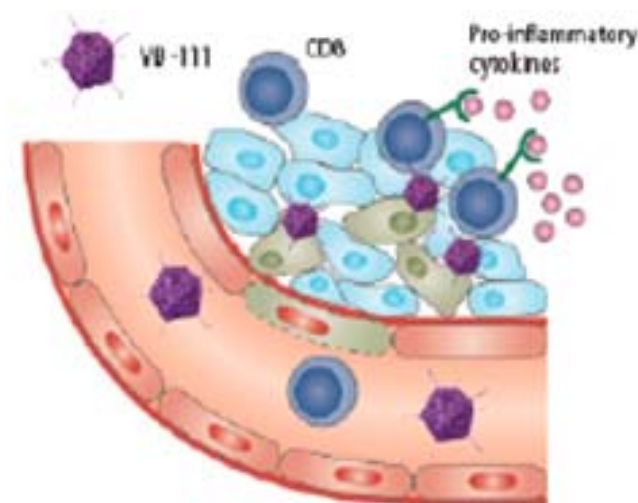
米国を中心とした開発状況

- ✓ **卵巣がん**
国際共同第Ⅲ相
- ✓ **大腸がん**
NCI共同第Ⅱ相
- ✓ **悪性神経膠芽腫 (rGBM)**
医師主導第Ⅱ相

① 選択的に腫瘍血管内皮細胞のアポトーシスを誘導



② 腫瘍内に侵入、免疫反応を惹起する



Phase III : VB-111



2017年11月 国内開発・販売権をVBL社より取得

開発のPOINT

世界の最先端技術を国内に展開
第Ⅲ相試験から開始することで治療法のない疾患に新たな治療法を短期間で提供する

プラチナ製剤抵抗性卵巣がん

国内の卵巣がん罹患数は年間1万人を超え、死亡者数は年間約5千人に達する（出典：厚生労働省 人口動態調査）。約2-3割の患者で、治療中またはプラチナ製剤投与後6か月以内の増悪/再発が認められ、プラチナ製剤抵抗性再発卵巣がんと判断される。本疾患は、標準治療がないため、新たな治療法の開発が強く求められている

国際共同第Ⅲ相臨床試験概要



対象疾患：プラチナ製剤抵抗性卵巣がん
開発地域：米国、イスラエル、欧州、日本
被験者数：400例（内：国内は30例を予定）
VB-111+パクリタキセル群 200例
プラセボ+パクリタキセル群 200例
評価項目：全生存期間（OS）
無増悪生存期間（PFS）

PFSの結果取得：2022年後半（予定）

OSの結果取得：2023年（予定）

進捗状況 **✓New**

世界：2022. 3. 9 症例登録完了 409例

国内：2021. 6.10 患者登録開始
2021.12.27 目標症例数30例（100%）を達成

2021.6.4 ASCO発表（VBL社）

主要評価項目に、PFS（無増悪生存期間）追加

- OSより1年ほど早く取得でき、良好な結果であればFDAとの協議により製造販売承認申請時期の前倒しを見込む

開発のPOINT

四半世紀ぶりの本格的な治験実施により耳鼻科領域へ新規医薬品を投入し、QOL改善に貢献
抗がん剤と比べて開発の難易度を低下させ、早い段階で収益に貢献

セオリアファーマと共同開発

✓ 新規耳科用 点耳抗菌薬

既存点耳抗菌薬の置き換えを狙う

中耳炎・外耳炎

WHOによると、世界の4200万人の聴覚障害(3年以上)の主な原因は中耳炎とされている。国内患者調査によると、2017年10月指定日で中耳炎・外耳炎患者は約30万人と報告され、高齢化が進むにつれ、患者数が増加すると予測。現在、耳科領域において治療薬の選択肢が少ないことが課題。



耳鼻咽喉科領域に特化した製薬会社は日本にはセオリアファーマ以外にはなく、医薬品の開発・製造・販売事業に取り組み、「抗アレルギー剤」「抗菌剤・抗ウイルス剤」「めまい治療剤」など、耳鼻咽喉科領域で必須とされている基礎的医薬品を中心に、18製品を武田薬品の流通網で販売しています。

第Ⅲ相臨床試験概要

対象疾患： 持続する膿性耳漏（耳だれ）を有する中耳炎患者
開発地域： 日本
被験者数： 200

主要評価項目達成

- 中耳炎の所見である膿性耳漏を主とした臨床症状を有意に改善することが確認され、また、外耳炎に対しても炎症所見を有意に改善することを確認

進捗状況

2021.5.31 患者登録完了

2021.9. 1 主要評価項目達成

✓ **New**

2022.4.22

製造販売承認申請を実施

- 1年程度で承認取得を見込む

開発のPOINT

がん治療の中心薬剤となった免疫チェックポイント阻害剤（ICI）キイトルーダ®とNC-6004の併用。ICI併用の臨床試験が世界で2000以上も実施され、ICIの併用薬への関心が非常に高い。

新規併用療法の確立を目指す

1. 米国等で実施した第I相においてPt抵抗性の再発/転移・頭頸部がん症例で抗腫瘍効果確認
2. 免疫チェックポイント阻害薬は再発/転移・頭頸部がんで承認されている（単剤療法）
3. シスプラチンと免疫チェックポイント阻害薬の併用による有効性は他のがんでも報告がある

頭頸部がん

がん患者の5%程度が頭頸部がんと言われており、年間死亡者数は国内約8千人、欧州約5万人、東南アジア約13万人（出典：2018年 世界の抗癌剤市場）。鼻・副鼻腔がん、耳下腺がん、舌がん、歯肉がん、喉頭がん、甲状腺がんなど種類が非常に多く、呼吸や咀嚼など生きるうえで欠かせない機能を担い、直接QOLに影響する。治療では、シスプラチンがkey drugであり、顔面維持や表情形成など社会生活上の配慮が必要とされる。

第IIb相臨床試験概要

対象疾患： プラチナ抵抗性再発/転移・頭頸部がん
開発地域： 欧州、台湾
被験者数： 124例
 キイトルーダ+NC-6004群 62例
 キイトルーダ単独群 62例
投与開始： 2020年11月
評価項目： 無増悪生存期間（PFS）

✓New

2022.4.22
暫定的な解析で評価項目未達

✓ OEP社と治験終了に向けて協議中

Phase I/II : NC-6300 Expansion Cohort



開発のPOINT

希少がんである軟部肉腫を対象に米国にてオーファンドラッグ指定・血管肉腫を対象にファストトラック指定
治療法のない領域に革新的な新たな医薬品を提供

軟部肉腫

脂肪、筋肉、血管などの軟部組織に発生する。米国成人の年間患者数は約1.3万人と推定される希少がん（出典：米癌学会）。
そのうちの数%が血管肉腫と言われ、治療法がなく、5年生存率が10%以下と著しく低い。進行が早く、転移もしやすいなど悪性度が高い。

血管肉腫 例数追加臨床試験 成績概要

- Expansion Cohortに登録された血管肉腫10例中3例がPR（奏効）を示した。
奏効率（ORR）30%、無増悪生存期間（PFS）中央値5.4か月。
 - 先に米国で実施されたPhase Ibで登録された血管肉腫患者2例を加えると、
ORRは42%、PFS中央値は7.3か月。
- 参考データ：血管肉腫の日常診療で使用するパクリタキセルの臨床試験結果（ORR：19%、PFS中央値：4か月）と比較して良好

例数追加臨床試験概要

対象疾患： 血管肉腫
開発地域： 米国 （Duke Cancer Center
Sarcoma Oncology Center）
症例数： 10例
投与開始： 2019年10月
評価項目： 有効性および安全性の確認
(NC-6300 150mg/m²)

進捗状況 **2021.5 ASCO
成績発表済み**

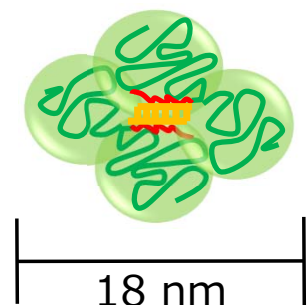
✓**New 2022.4 全患者への投薬を終了**

2021年6月
Fast Track designation

ライセンス交渉実施中

For short chain RNA

ユニットポリイオン複合体 Unit PolyIon Complex [uPIC]



➤ **siRNA**: NC-6100 (PRDM14)

➤ **ASO**: TUG1

血中滞留性の向上

siRNA : 2本鎖



ASO: 1本鎖



分岐鎖ポリエチレングリコール

親水性

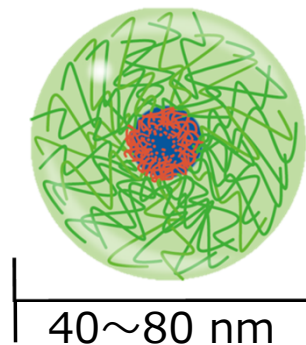


ポリアミノ酸
カチオン性

YBC polymer
(分岐鎖PEG結合型ブロックカチオマー)

For mRNA

ポリプレックスミセル



mRNAの
サイズに依存

➤ **mRNA**: Runx1

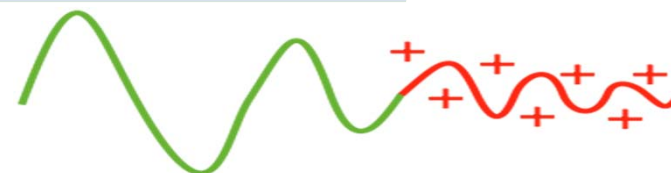
滞留性の向上

mRNA



ポリエチレングリコール

親水性



ポリアミノ酸
カチオン性

Target

PRDM14 : 転写因子。乳がんを高発現し、幹細胞性に関係。
siRNAによるPRDMの抑制により、がん（幹）細胞の成長抑制を期待

乳がん

女性が患う最も多いがん腫。11人に一人の女性が罹患すると言われるが、早期発見により比較的完治する。

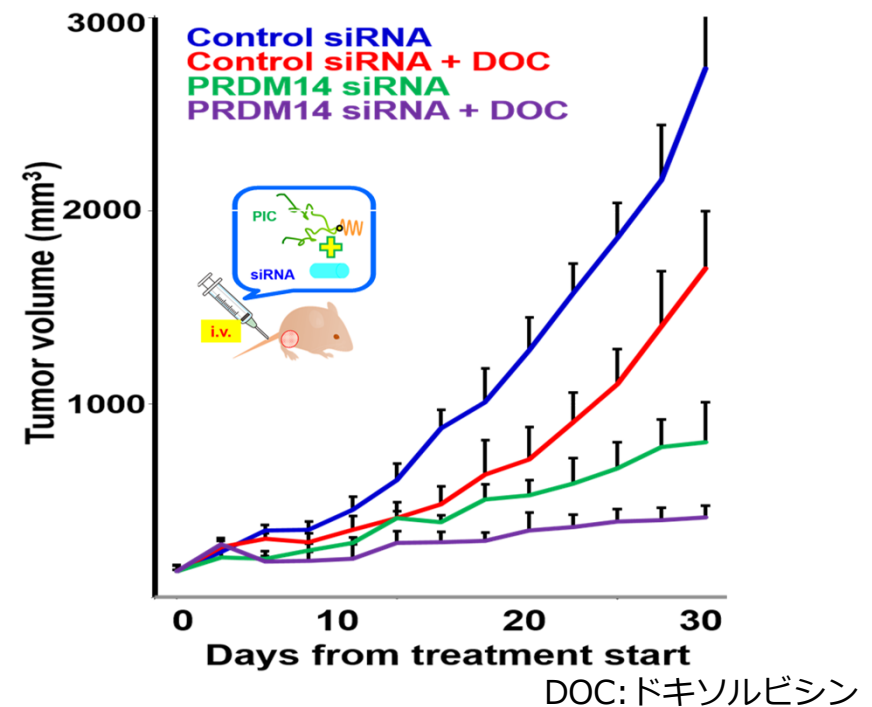
（出典：厚生労働省 人口動態調査）

しかしながら、乳がんの中でも 20～25% のHER2陰性のトリプルネガティブ乳がんは治療法が限られており、再発率が30%-50%と高く、再発後の生存率が著しく低下する傾向で、新たな治療法が求められる。

医師主導第 I 相臨床試験概要

対象疾患： 切除不能又は再発乳がん（HER2陽性は除外）
目的： 推奨投与量の決定および安全性/有効性の確認
主要評価項目） 安全性、忍容性
副次評価項目） 薬物動態、有効性
症例数： 15例（最大27例）
投与開始： 2020年9月
試験実施者： がん研有明病院

PRDM14 siRNA/YBCポリマー複合体(uPIC) の
トリプルネガティブ乳がん (TNBC)
同所移植モデルに対する抗腫瘍活性



Target

TUG1 : 膠芽腫に高発現し、膠芽腫のがん（幹）細胞の維持および生存に必要な分子として同定
がん（幹）細胞におけるTUG1のASOによる抑制は、複製ストレス/DNA損傷を誘導し細胞死に直結

膠芽腫（こうがしゅ）

脳腫瘍の一種で、神経膠腫（グリオーマ）の中でも最も悪性の腫瘍。5年生存率は10%以下と言われ、新たな治療法が強く求められている疾患。

日本国内での脳腫瘍の発生頻度は年間に約2万人、そのうち10%強が膠芽腫。（出典：脳腫瘍全国集計調査）

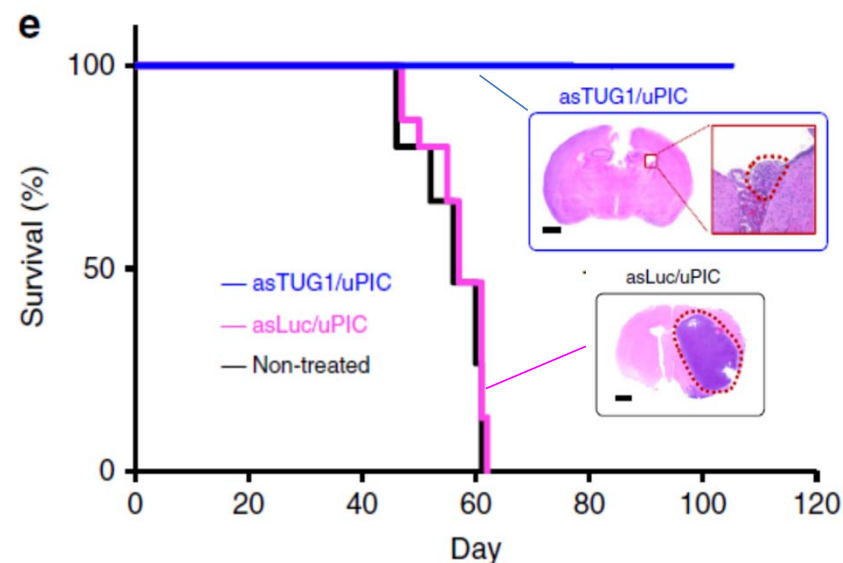
膠芽腫に対するアンチセンス核酸治療薬の実用化に向けた非臨床研究を推進

日本医療研究開発機構革新的がん医療実用化研究事業
(1 課題当たり年間上限77,000 千円、原則3 年度)

研究開発期間： 2020 年4 月-2023 年3 月

研究開発代表者：名古屋大学 大学院医学系研究科 近藤豊先生
ナノキャリは研究分担機関として参画

TUG1 ASO/YBCポリマー複合体(uPIC) の膠芽腫同所移植モデルに対する抗腫瘍活性



Watanabe, et al., Nature Commun., 10:1894, 2019.
Taniguchi, et al., Oncotarget. 8: 46856-46874, 2017

Target

RUNX1 : 軟骨誘導性転写因子

間葉系細胞、軟骨前駆細胞から軟骨細胞への分化および増殖を誘導

変形性関節症 Osteoarthritis (OA)

寝たきりの原因の10%を占める

有病率 : 全人口の約10%、国内推計患者数1000万人以上

手術を要する重症例 : 年間8万例以上

出典 : 厚生労働省「患者調査の概要」

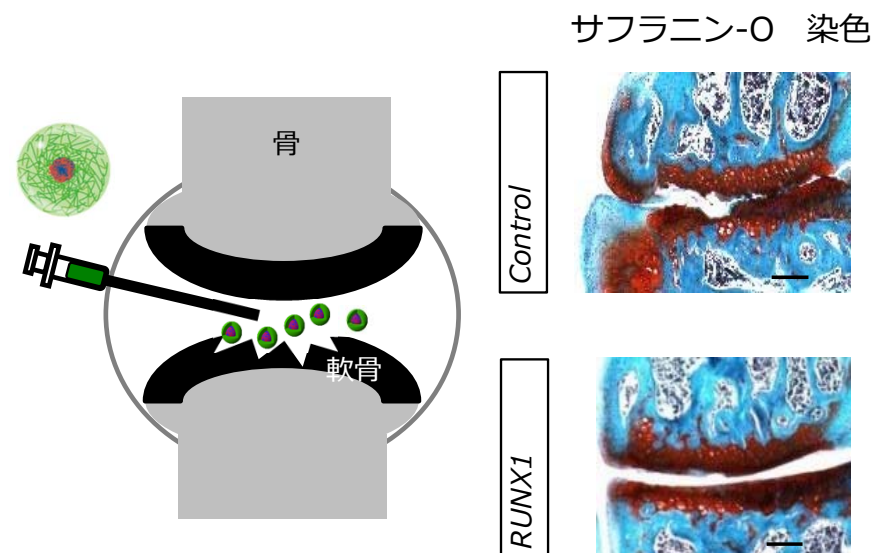
mRNA医薬のGMP製造を確立/第 I 相臨床試験を実施し至適用量決定を目指した開発を推進

日本医療研究開発機構 医療研究開発革新基盤創成事業
(スタートアップ型 : 1 課題当たり上限10億円まで)

実施内容

- RUNX1のmRNA/ナノミセル製剤の製造法確立
- 非臨床試験
- 医師主導による第 I 相臨床試験 (2023年度予定)

ミセル内包の軟骨誘導性転写因子「RUNX1」
膝関節内直接投与後の膝関節の病理組織像 (マウス)

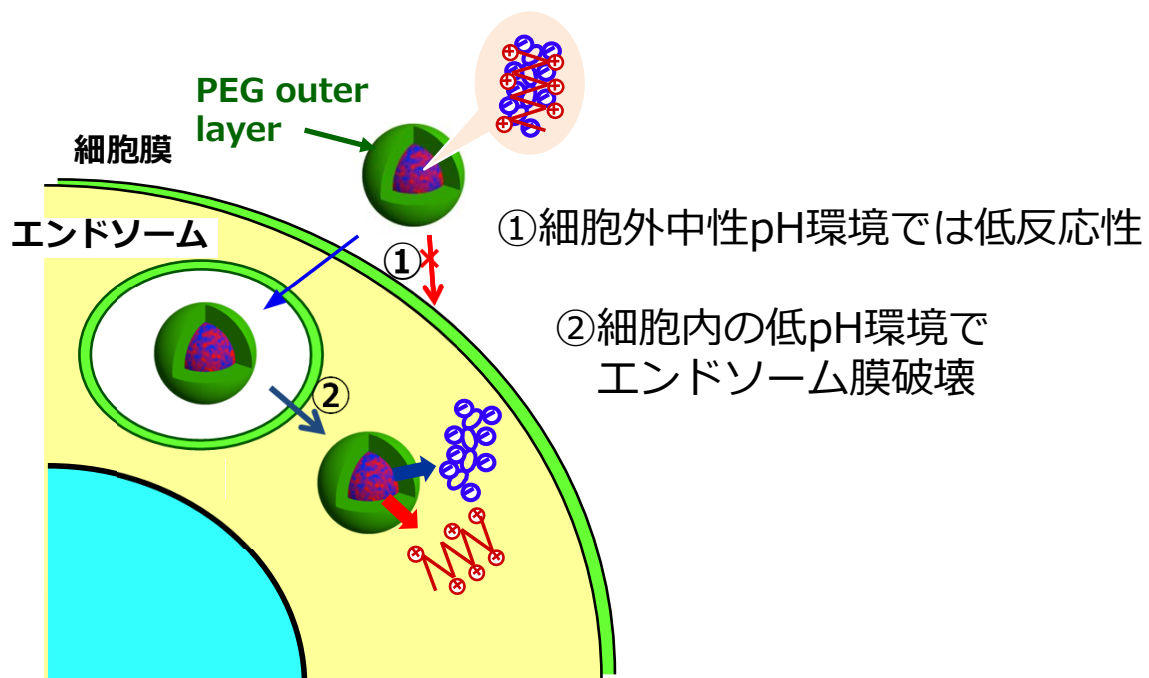


医科歯科大・位高教授らの研究から
Aini et al., Sci Rep 6:18743,2016

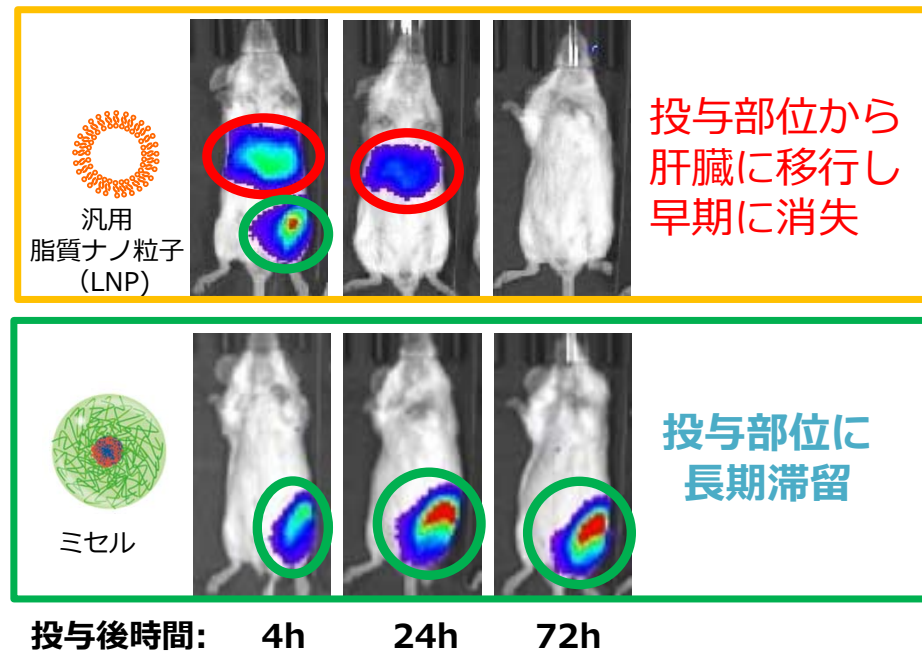
mRNA医薬開発におけるミセルの優位性

■ 細胞内の低pHに反応しmRNA放出

細胞内の低pH環境で側鎖末端構造が変化し
内包核酸のエンドソーム脱出を促進



■ 効率的かつ持続的なタンパク質発現



ルシフェラーゼのmRNAをポリプレックスミセルに包埋しマウス筋肉内に1回投与した際のデータ

CiCLE 日本医療研究開発機構 医療研究開発革新基盤創成事業
(スタートアップ型：1 課題当たり上限10億円まで)

目的： mRNA医薬を用いた変形性関節症（OA）に対する革新的な機能維持治療法の開発

代表機関： 株式会社 PrimRNA

分担機関： 東京医科歯科大学： 位高啓史教授（生体材料研究所）、古賀英之教授（医学部 運動器外科）
東京大学： 田中 栄教授（医学部整形外科学）

実施内容： ● 軟骨の分化・増殖転写因子RUNX1のmRNA/ナノミセル製剤の製造法確立
● 非臨床試験
● 医師主導による第 I 相臨床試験

mRNA医薬のGMP製造を確立/第 I 相臨床試験を実施し至適用量を決定

株式会社 PrimRNA（プライムルナ）

設立： 2021年4月1日

住所： 東京都中央区京橋1-4-10 大野屋京橋ビル

役員：	代表取締役社長	藤澤朋行（所属：アクセリード株式会社	代表取締役社長）
	取締役研究開発担当	吉田聖（所属：ナノキャリア株式会社	研究部長）
	取締役	栗原朋也（所属：ナノキャリア株式会社	法務知財部長）

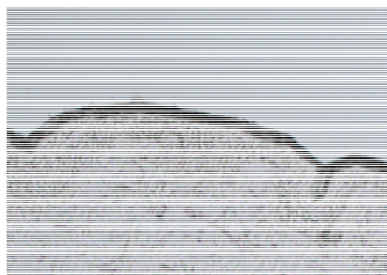
化粧品への応用:ミセルの皮膚浸透性に着目



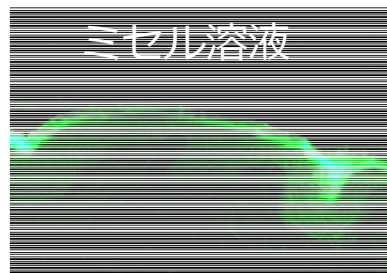
ミセルの皮膚に対する浸透性

2018年 International Investigative Dermatology

角質
表皮
真皮

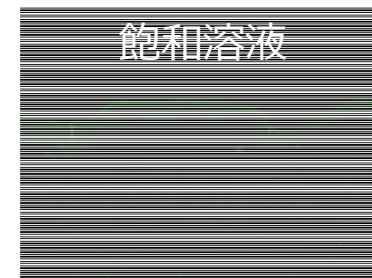


ミセル溶液



疎水性
蛍光物質
塗布
24hr後

飽和溶液



ミセル化することによって**浸透効率が上がる**

医薬部外品承認原料 約90製品に配合 (2021年9月)

化粧品配合実績例

例) 共同開発: 株式会社アルビオン



エクラフチュール
ECLAFUTUR



ホワイティング
イマキュレート エッセンス IDD
WHITENING IMMACULATE ESSENCE IDD



SCALP CARE
DEPTH
TECHNOLOGEIS

PRP (多血小板血漿) 治療とは

打撲・捻挫や傷の自然治癒過程には、血液の中に含まれる"血小板"の中に含まれる成長因子が重要な役割を果たしています。PRPには傷んだ組織を元通りに直そうとする自己の組織修復機能を有しているため、PRPを局所に注入し、"早期治癒"や"疼痛の軽減"効果をもたらす治療法として欧米では頻繁に行われています。

難治性不妊症に対するPRP療法成績

対象者：36名（平均年齢 39.7 歳、子宮内膜厚 平均5.86mm）、過去に平均3.3 回の不妊治療を行っており、全例が子宮内膜の菲薄化のために胚移植がキャンセルになった既往者

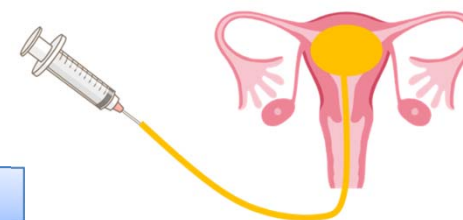
- ✓ PRP 投与によって、子宮内膜は1.27mm増加した。胚移植を実施できたのは32 例、妊娠が5 例（15.6%）に認められた。
- ✓ 有害事象は認められなかった。

2019.8 第37 回受精着床学会総会にて成績発表（山王病院）

産婦人科PRP研究会会員施設を対象に
Acti-PRP の販売活動を実施



Acti-PRP（血球細胞分離器）





本資料には、当社の事業及び展望に関する将来見通しが含まれておりますが、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している予想とは大きく異なる結果となる可能性があることを御承知おき下さい。

また、医薬品（開発品）に関する情報が含まれていますが、それらは宣伝・広告や医学的なアドバイスを目的とするものではありません。

Contact

ナノキャリア株式会社 社長室
東京都中央区京橋1-4-10 大野屋京橋ビル
TEL: 03-3241-0553